

10 版 放射線取扱の基礎—第 1 種放射線取扱主任者試験の要点—

正 誤 表

(対象：1 刷◇ 2026 年 1 月現在)

課 目	頁	誤	正
物 理	18 頁 例 題 16 解答	…，核異性体転移 (IT) が 10% …	…，核異性体転移 (IT) が 100% …
化 学	17 頁 上から 14 行目	また，放射性核種の属する元素の単位質量当たりの放射能を比放射能と呼ぶ。比放射能 A/w は，…	また，放射性核種の属する元素の単位質量当たり あるいは単位モル当たりの 放射能を比放射能と呼ぶ。 無担体の場合 ，比放射能 A/w は，…
	26 頁 下から 3 行目	$A = Nf\sigma\lambda$ (5.6)	$A = Nf\sigma$ (5.6)
	34 頁 5.4 純度 上から 11 行目	[放射化学的純度] = $\frac{[\text{注目 RI の特定の化学形の放射能}]}{[\text{全放射能}]} \times 100\%$	[放射化学的純度] = $\frac{[\text{着目 RI の特定の化学形の放射能}]}{[\text{着目 RI の全放射能}]} \times 100\%$
	34 頁 例題 43 解答 3 行・6 行目	$^{201}\text{TlCl}$: 7.1 MBq 放射化学的純度は， $^{201}\text{TlCl}$ の放射能が物質の全放射能に占める割合であるから $69 / (69 + 5.1 + 7.1) = 0.829$ (82.9%)	$^{202}\text{TlCl}$: 7.1 MBq 放射化学的純度は， $^{201}\text{TlCl}$ の放射能が ^{201}Tl の全放射能に占める割合であるから $69 / (69 + \mathbf{5.1}) = \mathbf{0.931}$ (93.1%)
測 定	44 頁 3.4.1 γ 線のスペクトロメトリ 下から 2 行目	E_c は， γ 線エネルギーを E_γ とすると，およそ $(E_\gamma - 0.25)$ MeV の値になる。したがって，コンプトンエッジは γ 線のエネルギーから約 0.25 MeV 低い位置…	E_c は， γ 線エネルギーを $E_\gamma \gg mc^2(0.511\text{MeV})$ の場合，およそ $(E_\gamma - 0.25)$ MeV の値になる。したがって， この場合 ，コンプトンエッジは γ 線のエネルギーから約 0.25 MeV 低い位置…
	45 頁 同項 上から 4 行目	…に当たってコンプトン効果を起こし，そこで後方散乱された γ 線 ($\doteq E_\gamma - E_c \doteq 0.25$ MeV) が検出器に入射して全吸収ピークを形成したものである。	…に当たってコンプトン効果を起こし，そこで後方散乱された γ 線 ($E_\gamma \gg mc^2(0.511\text{MeV})$ の場合 ， $E_\gamma - E_c \doteq 0.25$ MeV) が検出器に入射して全吸収ピークを形成したものである。
	71 頁 例題 35 解答	試料の計数率±標準偏差は， $\frac{14400}{10} \pm \frac{\sqrt{14400}}{5} = 1440 \pm 12[\text{cpm}]$	試料の計数率±標準偏差は， $\frac{14400}{10} \pm \frac{\sqrt{14400}}{\mathbf{10}} = 1440 \pm 12[\text{cpm}]$
管 理	14 頁 例題 4 解答	I：等価線量 H_T は… (以下略) J：実効線量 E は… (以下略)	A ：等価線量 H_T は… (以下略) B ：実効線量 E は… (以下略)
法 令	54 頁 13.2 事業所外運搬 上から 3 行目	「…に係る細目等を定める告示」で示される濃度 (免除濃度) 又は数量 (免除量，…)	「…に係る細目等を定める告示」で示される濃度 (免除濃度) かつ 数量 (免除量，…)

(裏面に，2 刷対象用の正誤表と法改正に伴う追加情報あり)

物理	18 頁 例題 16 解答	…，核異性体転移（IT）が 10%…	…，核異性体転移（IT）が 100% …
化学	26 頁 下から 3 行目	$A = Nf\sigma\lambda$ (5.6)	$A = Nf\sigma$ (5.6)
測定	44 頁 3.4.1 γ 線の スペクトロメトリ 下から 2 行目	E_c は、 γ 線エネルギーを E_γ とすると、およそ $(E_\gamma - 0.25) \text{ MeV}$ の値になる。したがって、コンプトンエッジは γ 線のエネルギーから約 0.25 MeV 低い位置…	E_c は、 γ 線エネルギーを $E_\gamma \gg mc^2(0.511\text{MeV})$ の場合、およそ $(E_\gamma - 0.25) \text{ MeV}$ の値になる。したがって、 この場合 、コンプトンエッジは γ 線のエネルギーから約 0.25 MeV 低い位置…
	45 頁 同項 上から 4 行目	…に当たってコンプトン効果を起こし、そこで後方散乱された γ 線（ $\div E_\gamma - E_c \div 0.25 \text{ MeV}$ ）が検出器に入射して全吸収ピークを形成したものである。	…に当たってコンプトン効果を起こし、そこで後方散乱された γ 線（ $E_\gamma \gg mc^2(0.511\text{MeV})$の場合、$E_\gamma - E_c \div 0.25 \text{ MeV}$ ）が検出器に入射して全吸収ピークを形成したものである。
管理	14 頁 例題 4 解答	I：等価線量 H_T は…（以下略） J：実効線量 E は…（以下略）	A ：等価線量 H_T は…（以下略） B ：実効線量 E は…（以下略）

追 加 情 報

(対象：1刷・2刷◇ 2026年1月現在)

2026年1月1日現在，**法改正に伴う読替・補足情報**は以下のとおりです。

課目	頁	誤	正
管理技術	81 頁 7.2.2 応急措置表 7.6	⑥容器に入った線源についても、できるだけ火元から移動させる。 ⑦移動した線源は、 <u>盗難等の防止のため、なわ張り等をした上で見張り人を置き、安全に管理する</u>	⑥容器に入った線源についても、できるだけ火元から 安全な場所 に移動させる。 ⑦移動した線源は、 関係者以外の者の立入りを禁止し ，安全に管理する
	53 頁 上から 14 行目	(6) 運搬物の運搬経路においては、 <u>標識の設置、見張人の配置等により運搬に従事する者以外の者及び運搬車両以外の車両の立入りを制限すること。</u>	(6) 運搬物の運搬経路に おいては ，運搬に従事する者以外の者及び運搬に使用される車両以外の車両の立入りを制限すること。
法令	112 頁 27 危険時の措置 上から 13 行目	ホ．放射性同位元素等を他の場所に移す余裕がある場合には、必要に応じてこれを安全な場所に移し、 <u>その場所の周囲には、縄を張り、又は標識等を設け、かつ、見張人をつけることにより、関係者以外の者が立ち入ることを禁止する。</u>	ホ．放射性同位元素等を他の場所に移す余裕がある場合には、必要に応じてこれを安全な場所に移し、関係者以外の 者の立入り を禁止する。

以上